



**2018年11月期  
決算説明資料**

**2019年2月13日**

**アルテック株式会社**

**(東証一部：9972)**

- I . 2018年11月期 決算報告**  
**2019年11月期 業績予想**
  
- II . 中期経営計画報告（2年目）**
  
- ご参考資料**

**I . 2018年11月期 決算報告**  
**2019年11月期 業績予想**

## 2018年11月期 決算報告

## 2018年11月期 決算報告

(単位：百万円)

	2017年11月期	2018年11月期			
	実績	当初計画 (2018/01/12開示)	実績	増減率	
				前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	15,173	16,000	16,200	6.8	1.3
営業利益	634	500	700	10.4	40.1
営業利益率	4.2%	3.1%	4.3%	-	-
経常利益	654	400	721	10.2	80.3
当期純利益	654	300	583	△10.9	94.4
EPS	38.16円	17.50円	34.02円	-	-

- 売上高 : 夏場の猛暑の影響等により、飲料用プリフォームの販売数量が堅調に推移し増収。
- 営業利益 : 販管費が増加したものの、売上増加等による売上総利益の増加に伴い増益。
- 経常利益 : 営業利益の増加および持分法による投資利益が増加し増益。
- 当期純利益 : 前期に繰延税金資産を計上した反動で、税金費用が増加し減益。

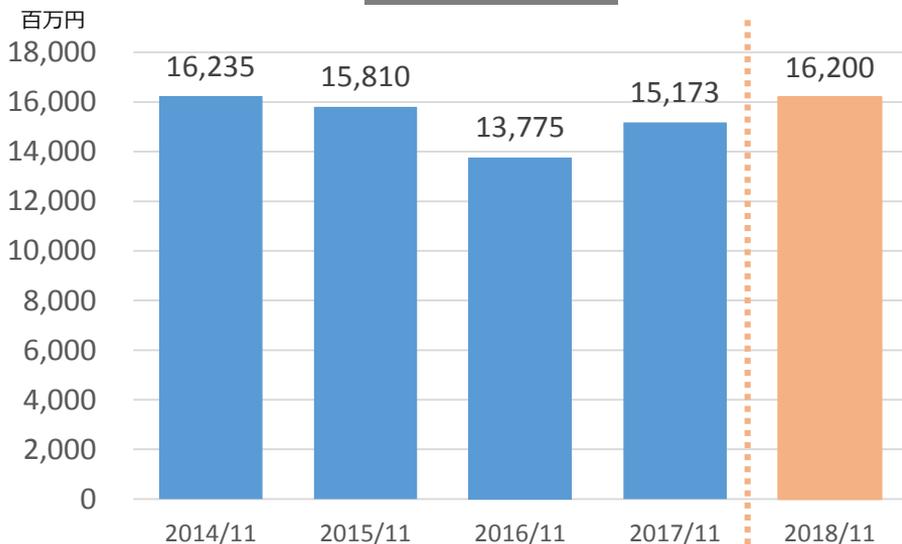
## 2018年11月期 決算報告（連結業績推移）

### 連結業績推移（2014～2018）

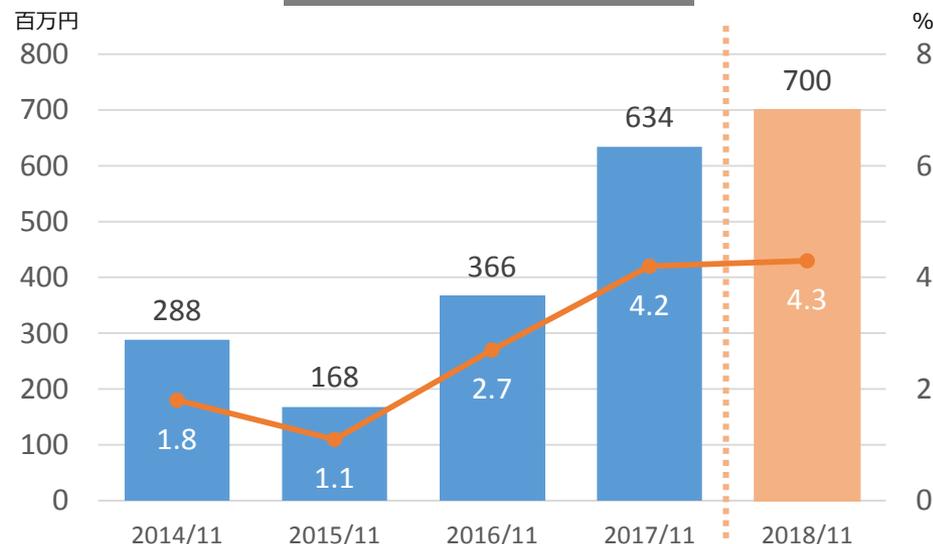
（単位：百万円）

	2014/11 実績	2015/11 実績	2016/11 実績	2017/11 実績	2018/11 実績
売上高	16,235	15,810	13,775	15,173	16,200
営業利益	288	168	366	634	700
営業利益率	1.8%	1.1%	2.7%	4.2%	4.3%

売上高



営業利益・利益率



■ 2014年度から2016年度：低採算商権の整理等の影響で、売上高は減少傾向。

■ 2017年度から2018年度：競争優位性のある商権に注力、コスト構造改革の断行等により、増収増益基調に転換。

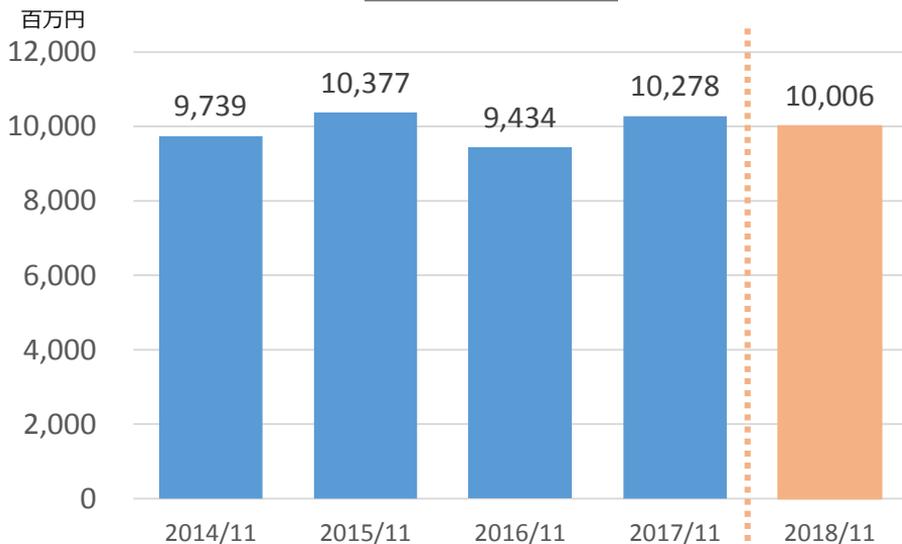
## 2018年11月期 決算報告（商社事業の業績推移）

### 連結業績推移（2014～2018）

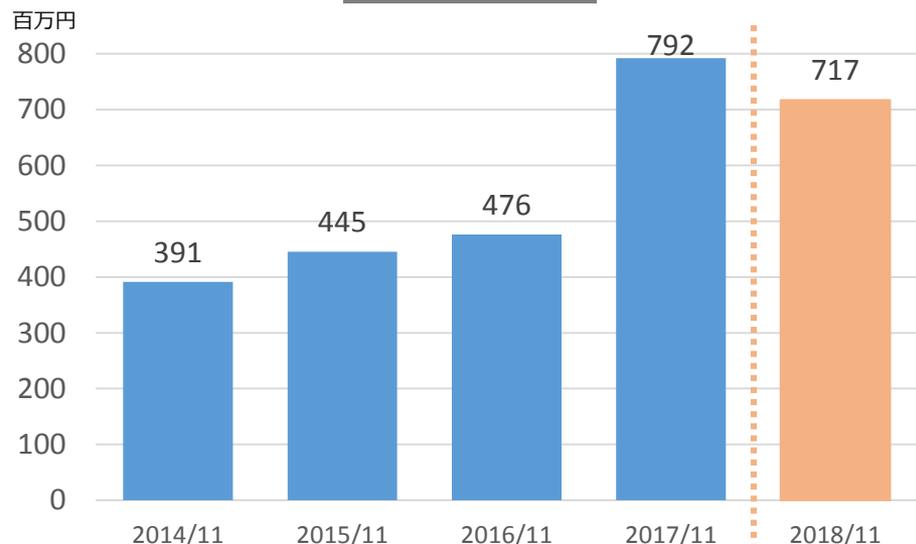
（単位：百万円）

	2014/11 実績	2015/11 実績	2016/11 実績	2017/11 実績	2018/11 実績
売上高	9,739	10,377	9,434	10,278	10,006
セグメント利益	391	445	476	792	717

売上高



セグメント利益



（注）セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

## 2018年11月期 決算報告（プラットフォーム事業の業績推移）

### 連結業績推移（2014～2018）

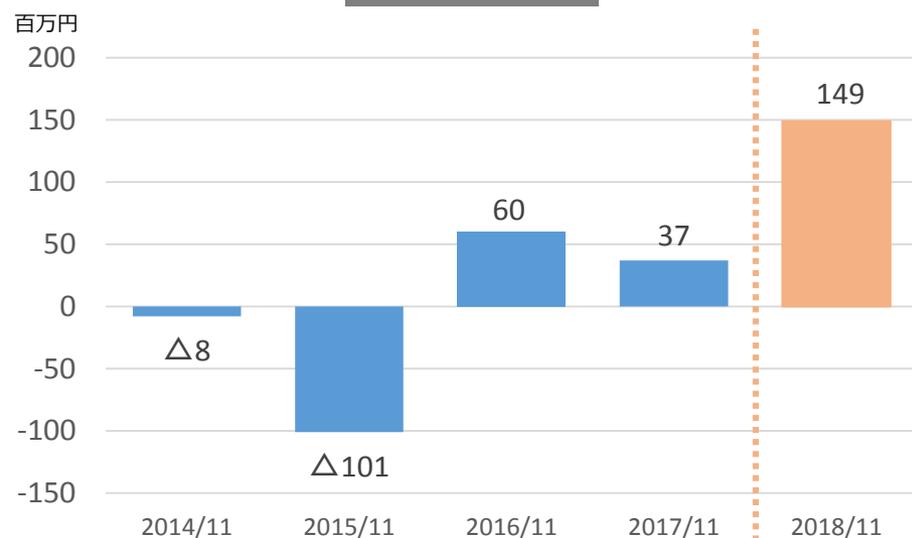
（単位：百万円）

	2014/11 実績	2015/11 実績	2016/11 実績	2017/11 実績	2018/11 実績
売上高	5,734	5,489	4,365	4,937	6,263
セグメント利益	△8	△101	60	37	149

売上高



セグメント利益



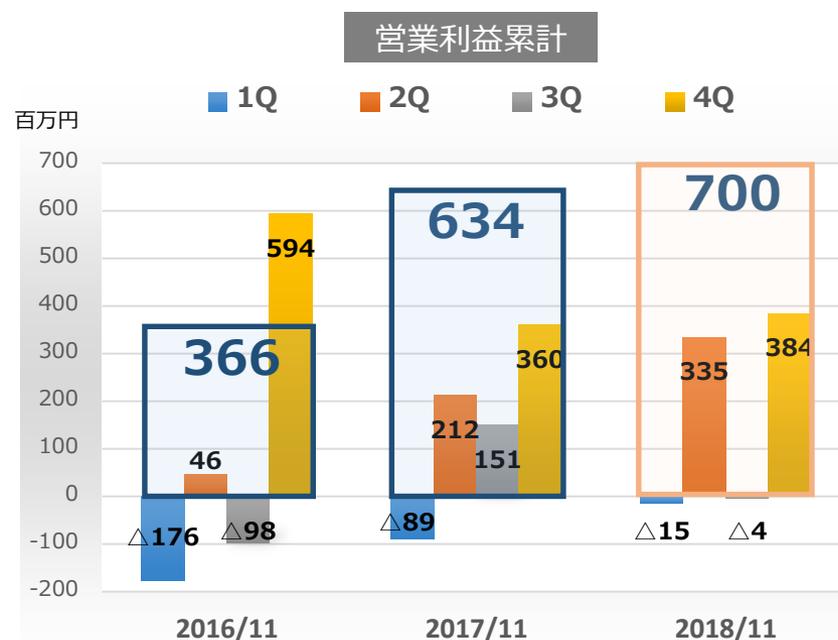
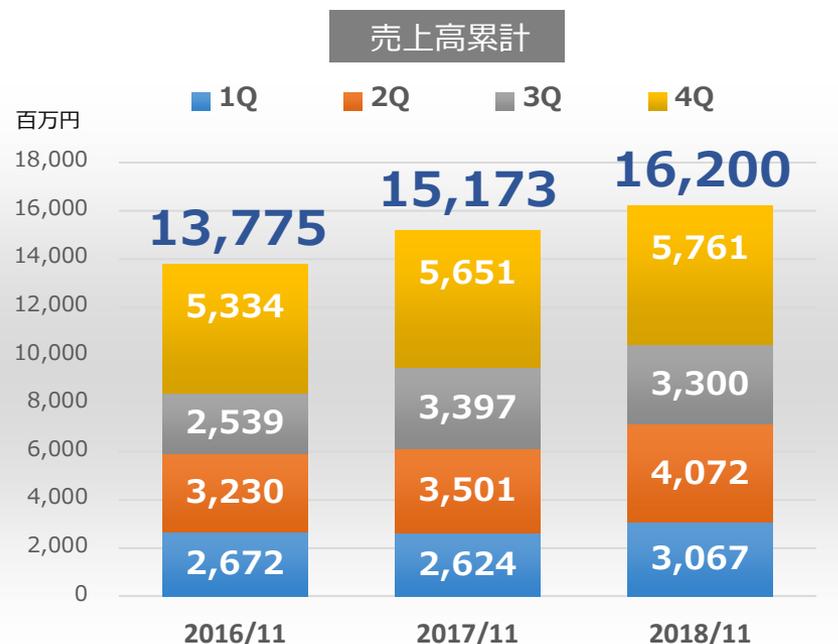
（注）セグメント間の内部取引を含んだ金額を記載しております。

## 2018年11月期 決算報告（四半期毎業績推移）

### 四半期毎業績推移（直近3カ年2016～2018）

（単位：百万円）

	2016/11 実績	2017/11 実績	2018/11 実績
売上高	13,775	15,173	16,200
営業利益	366	634	700



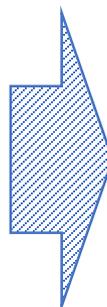
- 当社グループの業績には、季節変動あり。
- 当社が取り扱う産業機械の平均納期が6ヶ月であるため、売上高が第4四半期に集中。

## 2018年11月期 決算報告（連結財政状況）

### 連結財政状況（要約貸借対照表）

（単位：百万円）

2017年11月期			
総資産 16,247			
資産		負債	
流動資産	9,837	流動負債	4,863
有形固定資産	4,520	固定負債	1,398
無形固定資産	511	純資産	9,985
投資（その他資産）	1,377		



2018年11月期			
総資産 15,185			
資産		負債	
流動資産	9,218	流動負債	4,110
有形固定資産	3,980	固定負債	727
無形固定資産	474	純資産	10,347
投資（その他資産）	1,511		

	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資（その他資産）	流動負債	固定負債	純資産
増減額	△618	△539	△36	+133	△752	△670	+361

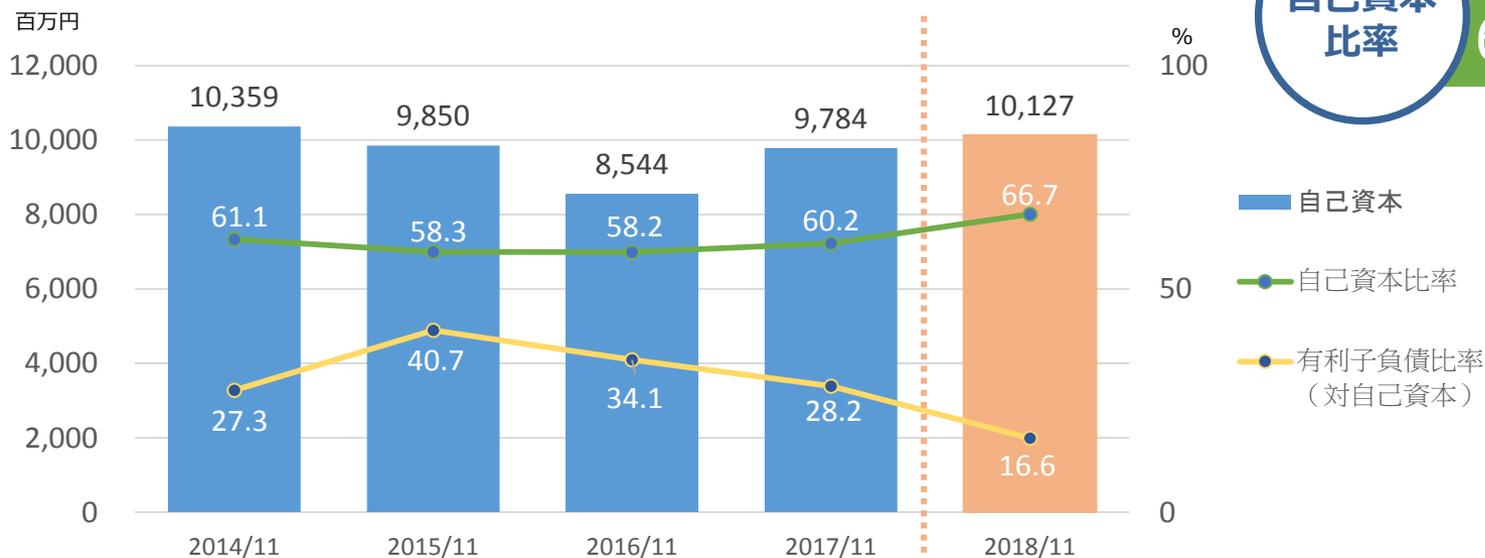
- 資産の減少：投資（その他資産）が持分法による投資利益の計上で増加したものの、流動資産において、前渡金等が減少、固定資産は減価償却等により減少。
- 負債の減少：流動負債および固定負債は、主に有利子負債返済等で減少。
- 純資産の増加：為替調整勘定等が減少したものの、当期純利益の計上等で利益剰余金が増加。

## 2018年11月期 決算報告（自己資本等の推移）

（単位：百万円）

	2014/11 実績	2015/11 実績	2016/11 実績	2017/11 実績	2018/11 実績
自己資本	10,359	9,850	8,544	9,784	10,127
自己資本比率	61.1%	58.3%	58.2%	60.2%	66.7%
有利子負債比率 （對自己資本）	27.3%	40.7%	34.1%	28.2%	16.6%

自己資本等の推移



自己資本  
比率

2018/11末  
66.7%

- 自己資本
- 自己資本比率
- 有利子負債比率  
（對自己資本）

## 2019年11月期 業績予想

## 2019年11月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2018年11月期	2019年11月期	
	実績	予想	前期比 (%)
売上高	16,200	17,000	4.9
営業利益	700	500	△28.6
営業利益率	4.3%	2.9%	-
経常利益	721	500	△30.7
当期純利益	583	400	△31.4
EPS	34.02円	23.33円	-

## ◆商社事業◆

- 売上高については、少子高齢化等による人手不足や業務効率化を目的とした省力化投資への需要を見込んで増収を予想。
- 収益面については、米中の貿易摩擦等、不透明な経済情勢を考慮し、採算面が厳しくなると予想していることに加え、人員補強や新規商権開拓への戦略的な先行投資費用等を計画していることから減益を予想。

## ◆プリフォーム事業◆

- 売上高および収益面については、拡大するペットボトルコーヒー需要や既存取引先の増産効果を織り込んで増収増益を予想。

## 2019年11月期 業績予想（営業利益について）

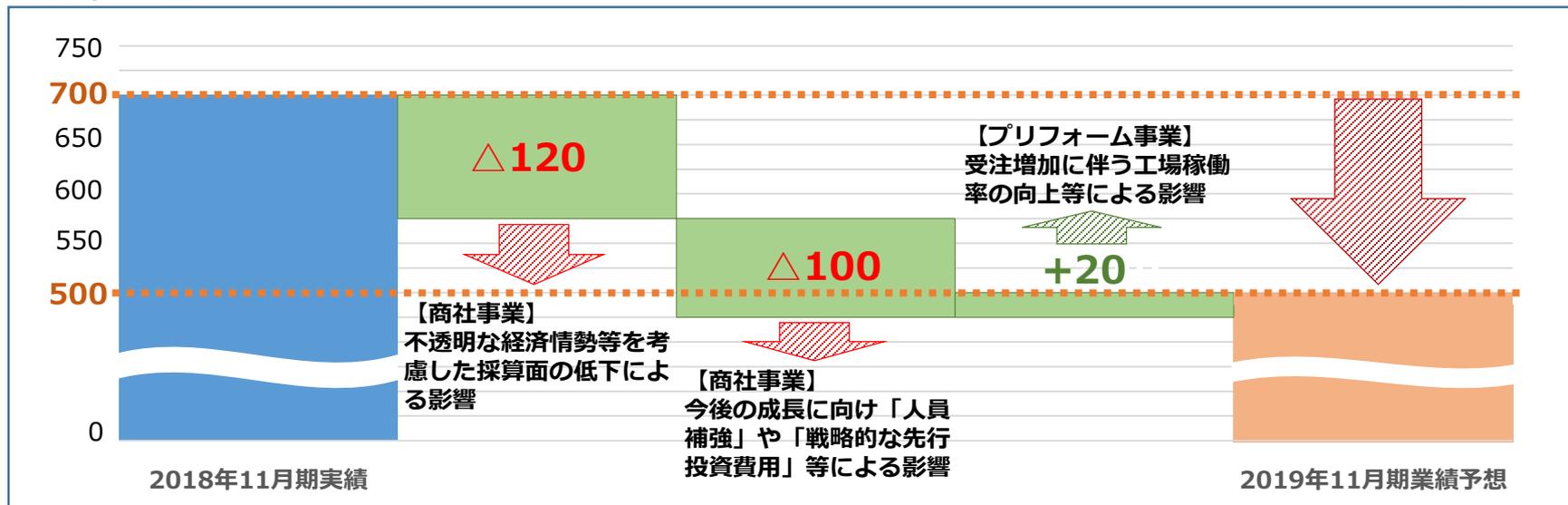
### 営業利益の減少要因

（単位：百万円）

	実績	業績予想	増減	中計目標
	2018/11	2019/11		2021/11
営業利益	700	500	△200	950
営業利益率	4.3%	2.9%	—	5%以上

### 【営業利益の増減要因】

（単位：百万円）



## **Ⅱ. 中期経営計画報告（2年目）**

### ◆基本方針◆

1. 事業の付加価値の創出
  - ・ 戦略商権（商品）の発掘
  - ・ 取引先の満足度の向上
  - ・ 技術部門との連携強化
  
2. 固定費効率の向上
  - ・ コスト構造改革の断行
  - ・ 海外拠点のスリム化
  
3. グローバル運営体制の構築
  - ・ 地域毎の統括体制の構築
  - ・ 組織・人材の強化

### ◆重点施策◆

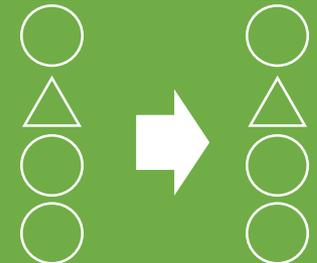
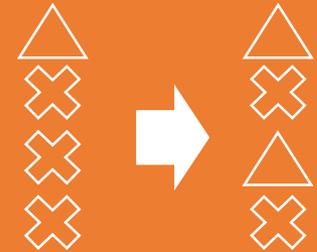
- ・ 継続的需要の創出を目標とする既存商権の拡販
- ・ 既存サービスのホワイトスペースの攻略
- ・ サービスロボット、IoT等の新規商権の開拓
- ・ 新興国市場の開拓の加速

- ・ 低採算商権の整理
- ・ 低採算拠点の整理

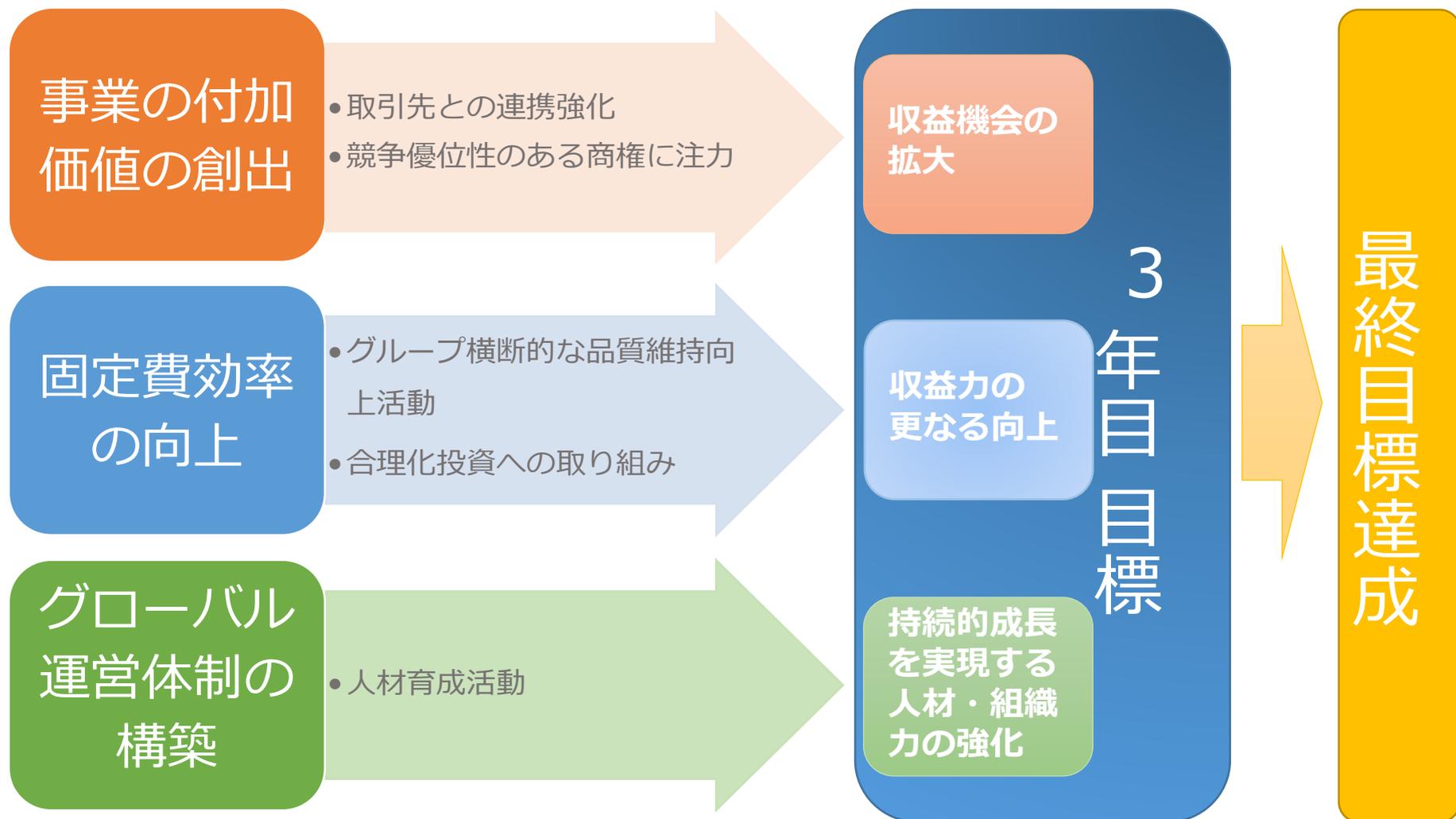
- ・ 海外統括体制の構築の着手
- ・ 次世代マネジメントの育成
- ・ マーケティング部門の新設
- ・ エンジニアリング部門の統合

### ◆進捗状況◆

初年度      2年目



## 中期経営計画 重点施策（具体的施策）

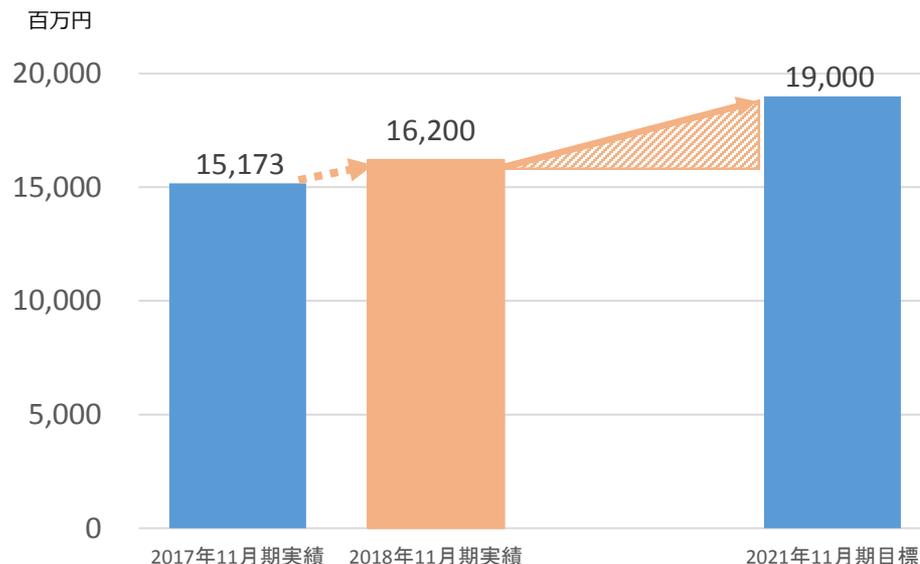


### 連結目標

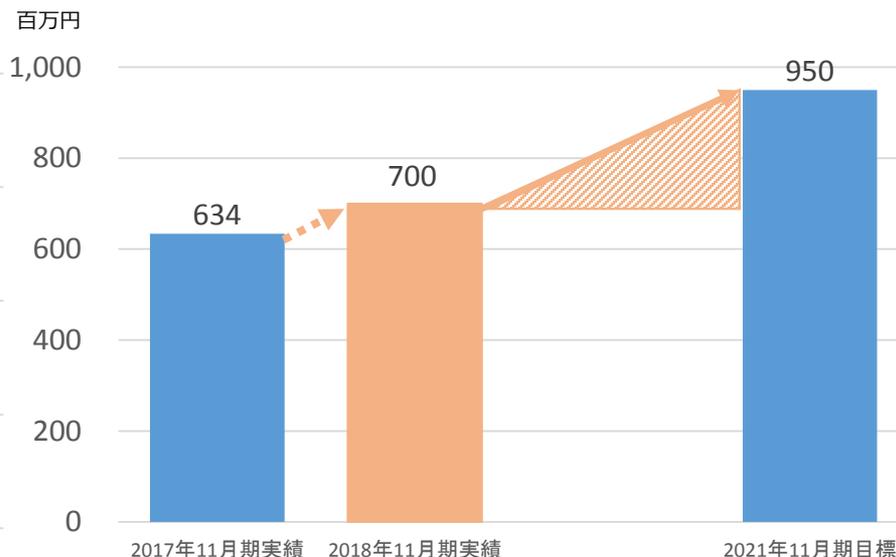
(単位：百万円)

	2017年11月期 実績 中計（初年度）	2018年11月期 実績 中計（2年目）	2021年11月期 目標 中計5年目（最終年度）
売上高	15,173	16,200	19,000
営業利益	634	700	950

売上高



営業利益



## 目標達成に向けた営業戦略

### 売上高の目標達成に向けて

(単位：百万円)



2018年11月期実績

2021年11月期目標

## 注力商権 (1)

### 物流・製造現場、流通業界での課題解決

企業の人手不足が叫ばれる中、とりわけ物流・製造現場、流通業界において、その状況は非常に深刻化。  
工程に潜むムダを排除することで、現場の生産性向上による人手不足解消や働き方改革を実現。

#### 人手不足を改善・サポートする商権

##### 自動化

自律走行型搬送ロボット  
(OTTO)



##### 在庫管理

RFIDタグ・ICカード製造装置 (Muehlbauer)



自動収納庫システム  
(KARDEX)



オンデマンド自動製品梱包装置 (CMC)



## 注力商権 (2)

### 日用品や食品の増産、中食産業に貢献

ライフスタイルの変化、インバウンド、容器のチューブ化などにより拡大する軟包装パッケージ需要に貢献。

### チューブ商品、個包装パッケージに関わる印刷・包装機器

#### 包装機器

##### ラミネートチューブ・プラスチックチューブ製造ライン (PSG)

LTR2-HPX-TCX2



#### 印刷機器

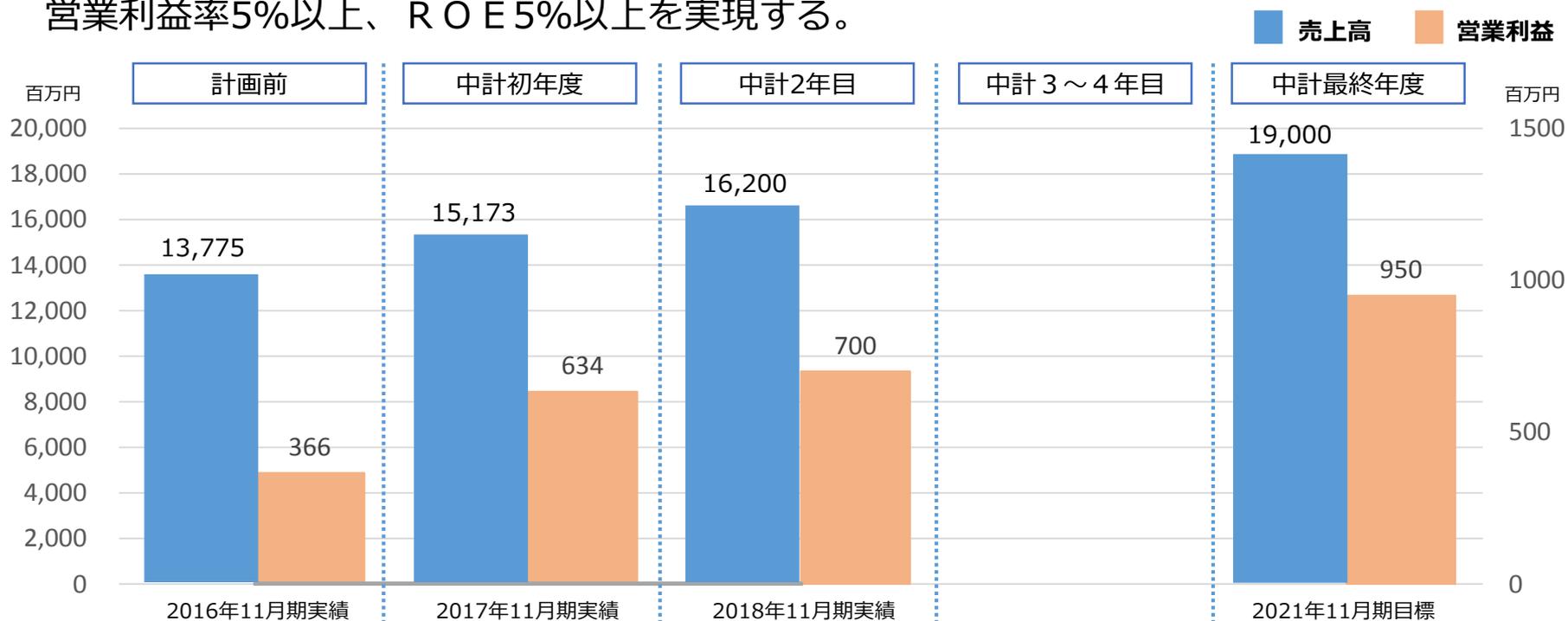
##### グラビア印刷機 (BOBST Italia)



## 経営数値目標

### 経営数値目標

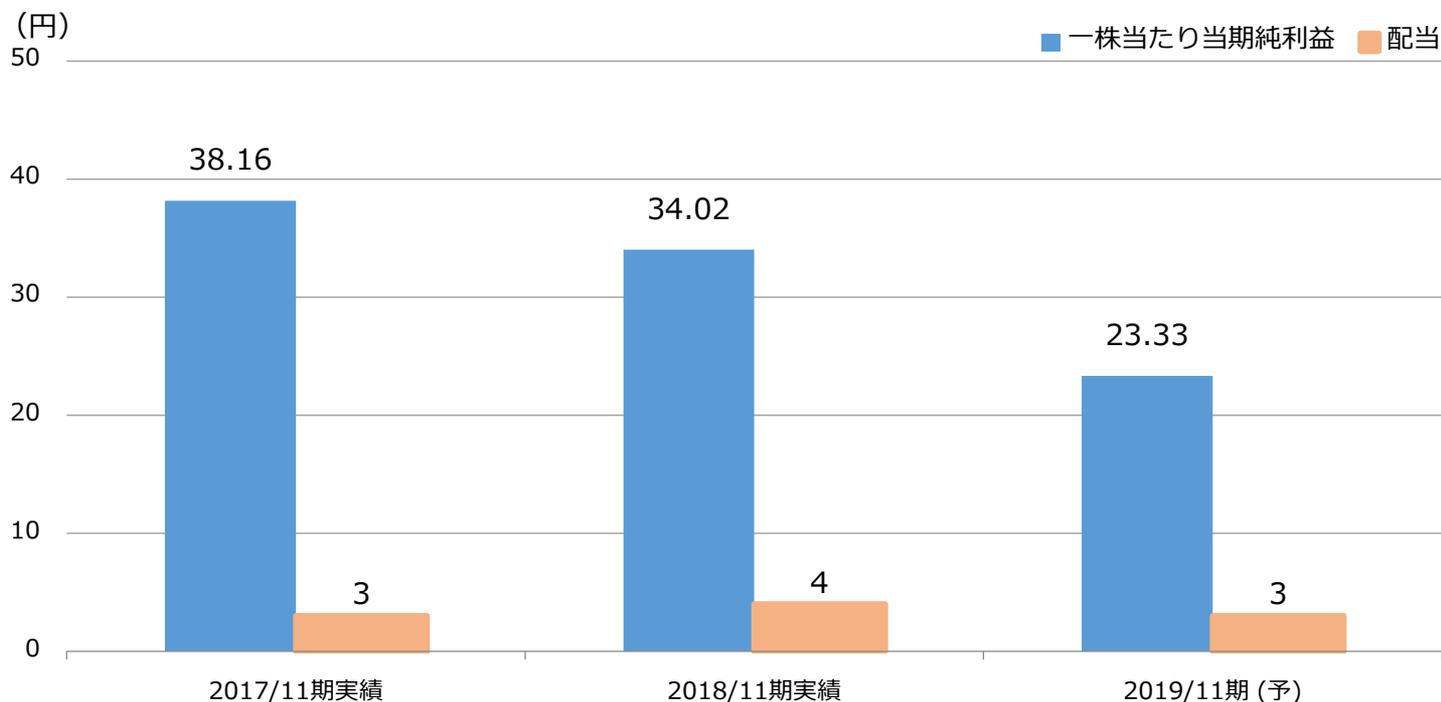
営業利益率5%以上、ROE5%以上を実現する。



## 株主還元の基本方針

株主の皆様への継続的な利益還元を最優先とする一方で、企業基盤の安定を図るために内部留保を充実させる。

年間配当実績と2019年11月期配当予想



## (将来に関する記述等についてのご注意)

- 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づき、当社が判断した内容であり、潜在的风险および不確実性が含まれております。これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。
- これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

### ■ ご参考資料

2018年11月30日現在

商号	アルテック株式会社（英文名：ALTECH CO.,LTD.）
設立	1976年5月15日
上場	東京証券取引所第1部（コード：9972）
所在地	東京都中央区入船2丁目1番1号
資本金	55億2,782万円
事業内容	包装・印刷関連等の特殊産業機械の専門商社 PETボトル用プリフォームおよびキャップの製造・販売事業
代表者	代表取締役社長 張能 徳博
従業員数	連結425名（単体138名）
関係会社数	連結子会社9社、持分法適用会社1社

## 当社グループの事業 - 商社事業 -

### 事業一覧

創業以来蓄積したノウハウと分析した市場データを融合しながら常に新しい分野に挑戦し、長期的なトータルソリューションを提供



### プリフォーム事業

#### PETボトル用プリフォーム製造・販売

- ・ 飲料向け耐熱PETボトル用プリフォーム
- ・ 飲料向け無菌充填PETボトル用プリフォーム
- ・ 食用油向けPETボトル用プリフォーム
- ・ 食用油向けPETボトル用キャップ



#### 国内拠点

### アルテック 新材料株式会社



住所：福井県坂井市丸岡町小黑第68号12番地  
URL：<http://altech-fukui.co.jp/>

#### 海外拠点



愛而泰可新材料（蘇州）有限公司



愛而泰可新材料（武漢）有限公司



愛而泰可新材料（広州）有限公司



重慶愛而泰可新材料有限公司

# 当社グループの拠点ネットワーク

## 日本国内および中国、ASEANを重点地域としたお客様の事業展開をサポート

- 商社事業 : 海外においても国内同様にお客様の「ものづくり」をサポートするネットワーク
- プリフォーム事業 : 国内外において高品質な製品・サービスを提供するネットワーク



### 商社事業 ☆

- ・タイ (バンコク)
- ・インドネシア (ジャカルタ)
- ・ベトナム (ホーチミン)

### プリフォーム事業 △

- ・日本 (福井)
- ・中国  
(蘇州、広州、重慶、武漢)